

アレルギー免疫療法外来 (スギ舌下免疫療法)

八尾徳洲会総合病院

小児科

問い合わせは小児科 石垣へ

アレルギー免疫療法とは？

- アレルギー免疫療法は、減感作療法とも呼ばれ、アレルギーの原因である「アレルギー」を少量から投与することで、体をアレルギーに慣らし、アレルギー症状を和らげる治療法です。

アレルギー症状を治す可能性のある治療法と考えられています。

アレルギー症状のある疾患のうち、花粉症、アレルギー性鼻炎、気管支喘息などに対してこの治療法が行われています。

外来時間予定

小児科

月曜日 11時から－13時 一人30分枠から開始

(診察と説明のみはその限りではありません)

12歳から65歳未満(もっと高齢の方は相談の上で)

スギ花粉症の方

●くしゃみ、鼻水、鼻づまりの改善



●涙目、眼のかゆみの改善



●アレルギー治療薬の減量



●QOL(生活の質)の改善



最初にご留意ください

- 以下に当てはまる人はシダトレンのようなアレルギー免疫療法を受けられません。
- 妊娠されている方
- 喘息や気管支喘息の症状が強く出ている方
- 重症の口腔アレルギーの方
- 抜歯後などの口腔内の術後、傷や炎症などがある方
- ステロイドや抗がん剤、 β 阻害薬使用など特定の薬を使用されている方

当院では
6月から12月まで初診受けつけします
できれば11月中に

- 完全予約制です。12歳以上65歳未満のスギアレルギーの方対象です。さらに高齢の方はご相談の上でとなります。
- 初診時は基本的に説明と検査と診察だけで終了します。

ただしスギ花粉症の最近の検査結果をお持ちの場合はその限りではありません。

- 説明を受け、検査結果を確認して診察して合意してから処方します。
- 1回目の薬はシューターで中央処置室に運ばれます。
- 1回目の内服を医師立会いの元 外来で行います。
おもにアナフィラキシーの危険に注意するためです。

その他の主な副作用として、口内炎、舌下腫脹、咽喉頭そうよう感、口腔内腫脹、耳そうよう感、頭痛などがあります副作用が強ければ継続はできません。

- 1回目の内服後30分経ってから残りの薬や会計を終え帰宅します
- 受診2回までは外来時間がかかると予め余裕を持って来院ください。

通院について

- 2014年に発売されて以来約50000人が服用されています。2シーズン続けている方もいます。
- 7－8割の方に効果がでています。当院でも30年余り苦勞されている方が楽になったとおっしゃっています。
- 今年は花粉が少ないと予想されていましたが1月から花粉症の症状が出てきている方もいましたので、敏感な方は今年も大変だったと思います。
- 最初は通院も内服に慣れるのも大変に感じられるかもしれませんが、ペースができると習慣になって上手に続けておられる方はいます。

さらに注意点

- 副作用の発現を避けるために、以下の注意点をきちんと守らなければなりません。
 - ・舌下への投与後、5分間はうがいや飲食を避ける。
 - ・舌下への投与後、2時間は激しい運動や入浴などは避ける。
- お問い合わせは
小児科 石垣(担当医) 月、火、水 13時－14時

詳しくは外来受診時にご確認ください。電話では詳しいお話は難しいと思います。

鳥居薬品のホームページ

<http://www.torii-alg.jp/patienty/>

アレルギー免疫療法の特徴

■アレルギー症状を治したり、長期にわたり症状をおさえる可能性のある治療法です。

症状が完全におさえられない場合でも、症状を和らげ、おくすりの使用量を減らすことも期待できます。

■治療前に、症状がアレルギーによるものかの確定診断が必要です。

問診やアレルギー検査などを行うことにより、症状を引き起こすアレルギーを確かめます。

■治療は長期間(3～5年)かかります。

■すべての患者さんに効果が期待できるわけではありません。

